

健康に対する意識を高める



7月12・13日、県民健康プラザ健康増進センターで「健プラ開設記念&鹿屋市健康まつり」が開催されました。イベントでは姿勢チェックや健康度チェック、押し花体験等のほか、口腔機能低下予防のためのオーラルフレイル教室を実施。参加者は健康増進の意識を高めていました。

海水浴場オープン 子どもたちの声響く



7月7日、「浜田海水浴場及び高須海水浴場開設式」が行われました。式では両海岸での安全を祈る神事が行われた後、浜田海水浴場で和光こども園の園児が初泳ぎを楽しみました。水着姿の園児たちは歓声をあげて水を掛け合うなど、子どもたちの元気な声が海岸に響きました。

新たな地域おこし協力隊2人が着任



7月1日、はたなかゆうすけ畑中祐亮さんと畑中ゆうきさんが新たに鹿屋市地域おこし協力隊に着任しました。両隊員は黒羽子観光農園で栽培されている作物の栽培技術を習得するとともに、来園者へのおもてなしやイベントの企画等を行い、観光農園の賑わい創出に取り組む予定です。



かのやのホットな話題をお届け

自転車の事故から命を守りたい



7月16日、有限会社まえだの関係者が市役所を訪れ、自転車用ヘルメット416個を寄贈しました。ヘルメットはまえだ教育委員会を通じて、市内の各小学校に配られます。前田数郎代表は「自転車を利用する鹿屋市内の子どもたちの命と安全を守るために活用してほしい」と話しました。

夢に向かって一歩踏み出す



7月12日、リナ ベースRINA BASE+で起業・創業を考えている女性10人を対象に「かのや女子起業ラボ2025」の1回目を実施されました。参加者は講師・かわはらともみ川原智美氏や先輩起業家の体験談を聞いて、自分の強みや考えを整理し交流を深める中で、“やりたいことを形にする”一歩を踏み出しました。

地域一体で立ち直りを支える



7月1日、市役所で「第75回『社会を明るくする運動』のメッセージ伝達式及び出発式」が行われました。これは、罪を犯した人の更生について理解を深め、犯罪や非行の無い明るい社会を目指す全国的な運動。当日は、市役所や市内商業施設等で啓発活動が実施されました。

県内初の空家等管理活用支援法人を指定



7月1日、鹿児島県宅建物取引業協会を空家等管理活用支援法人として指定しました。これは市とともに空き家の利活用に取り組む団体を指定するもので、同協会の中馬敏夫会長は、「年々問題となっている鹿屋市の空家問題を解決に導けるよう精進する」と意気込みを語りました。

弓道で九州大会へ



7月18日、鹿屋東中学校の弓道部が市役所を訪れました。同部は5月の県大会で優勝し、8月の九州大会に出場することを報告。「半矢以上は命中させたい」と語りました。

電卓・珠算で九州・全国へ



7月16日、鹿屋女子高校スーパービジネススクールの部員と関係者が市役所を訪れました。同クラブは県大会で優秀な成績を残し、九州・全国大会への出場を報告しました。

観光功労者表彰を受賞



7月16日、鹿屋市平和学習ガイドが「戦跡ツアー対応などを通じて観光事業に貢献した」として県の観光事業功労者表彰を受賞し、その報告に市役所を訪れました。

九州の舞台で優勝



7月11日、鹿屋農業高校3年のただよみ戸高嘉輝さんが市役所を訪れ、6月に開催された「第79回全九州高等学校ボクシング大会」のバンタム級で優勝したことを報告しました。

全国大会に向けて！



7月7日、寿北ソフトボールスポーツ少年団が市役所を訪れ、全日本小学生ソフトボール大会鹿児島県予選優勝の報告と8月に福井県で開催される全国大会への意気込みを表明しました。

全国制覇を目指す！



7月3日、北斗ウィングス軟式野球スポーツ少年団が市役所を訪れ、県予選3位の入賞と「阿波おどり全国学童軟式野球大会2025」への出場を報告し意気込みを語りました。